

第7回「高校生のための経営学実践講座」

ファストフード店の集客アイデア競う

高校生が「経営」について学ぶ経営学部の公開講座「高校生のための経営学実践講座」が8月7日、生田キャンパスで開催され、約90人の高校生が参加した。

今年も(株)モスフードサービスとの協力で、1として高校生たちの間に加わり、2時間半におよぶ熱心な討論の末、12日、生田キャンパスで開かれた「ファストフード店の集客アイデア」の発表会が行われた。

発表会ではモスフードサービスと本学がそれぞれ上位3グループを選んだ。モスフードサービスは「えびせんぱー」を使ったアイデアを賞第1位(専大賞1位)に選んだ。専大賞1位(モスフードサービス)は「えびせんぱー」を使ったアイデアを賞第2位に選んだ。Gグループは「かっぱえびせん」を使ったアイデアを賞第3位に選んだ。Gグループは「かっぱえびせん」を使ったアイデアを賞第3位に選んだ。



▲ グループに分かれて討議



▲ 専大賞1位のGグループ



▲ メダルを授与



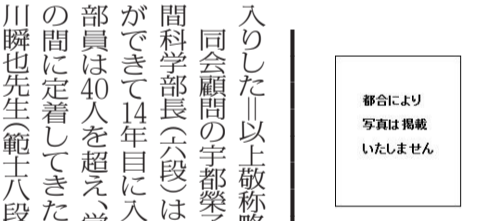
▲ 専大賞1位のGグループ

最後に瓶子長幸経営学部長が「チームで取り組む楽しさが経営の第一歩。これを機会に経営学に興味をもってほしい」と語った。

高校生たちは「経営は難しいという印象をもっていたが、アイデアを発信できるところが面白い」「プレゼンは緊張したが皆で取り組む楽しかった」と初めてのマネジメント体験を振り返った。

「都こんぶ」を使ったBグループの「不思議バーガー」で、「実際に試食して開発にあたり」

ほかに、「コロケとかりんどうを組み合わせて食感を楽しむ「カリコロバーガー」、「梅しば」と豆腐を使った高齢者向けヘルシーバーガーなど、創意あふれるアイデアがそろった。



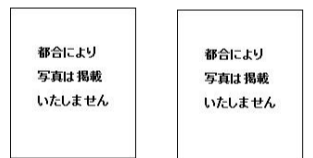
▲ グループ別のプレゼンテーション

豪エンデバー奨学金 本学から2学生に

オーストラリア政府が提供するエンデバー奨学金を、本学の2学生が授けられた。長期交換留学プログラムでウーロンゴ

深沢香菜さん(文4)と大谷卓也さん(文4)と深沢香菜さん(二部商4)。

東日本大震災で被害を受けた地域の学生を対象にした教育交流支援プログラム(震災復興支援)で、奨学金は約5000豪ドル相当。大谷さんは奨学金は大きな励みです。留学の残り3カ月間、専修大学の代表としてより一層頑張っていきます」と喜びを語った。



▲ 深沢香菜さん 大谷卓也さん

「カップ麺の湯で」「ヘアアイロンで」「バイクのマフラーで」：保健室にはほぼ毎日ヤケドの学生がやってくる。そのほとんどは初期の対応が不十分です。

ヤケドの応急処置で最も大切なのは受傷直後速やかに水で冷やすことです。その目的は、痛みを和らげる・ヤケドの深さの進行予防・跡を残りにくくするためです。初期治療が遅れると傷は深くなり、治療期間も長くなります。

範囲・程度により、基本的には流水で5分以上冷やします。

ヤケドをしたら

健康フラッシュ

水ぶくれは、細菌が入って悪化したり跡が残らないよう傷口を保護する役割があります。破れないようガーゼや清潔なタオルで軽く覆い病院を受診します。

ヤケドを起こす環境や原因は身近な日常生活にあります。まず予防に心がけましょう。(保健室)



「目安としては痛みを感じなくなるまで」。直接流水をあてられないうちは、アイスノンを観察します。

Ⅱ度(水ぶくれができて強い痛みがある)、Ⅲ度(皮膚が白くなったり黒く焦げ、神経が破壊され痛みも感じない)では病院での治療が必要です。

「専大杖道会」が活躍

四段石崎・岸野組2連覇 初段村上・大谷組も優勝

7月8日、東京・豊島区の巣鴨学園で開かれた第24回東京都杖道大会(東京都剣道連盟主催・東京新聞など後援)で、専大杖道会は、2部門で1位になったほか上位入賞が多数出た。

1位は四段の部の石崎(河上)珠枝(平18経済)・岸野紘子(平18経営)組で昨年に続く2連覇。

初段の部でも村上晋之介(法2)・大谷直矢組が1位となった。

1級以下の部では田中達真(文1)・藤田海理(経済1)組が2位に、逆井拓海(文1)・竹下涼祐(文1)組がベスト4に入った。二段の部の我妻沙紀(経営4)・石橋和弥(文4)組もベスト4

英語プラス

学生に占める留学生の割合は、大学史上最高の23%だったそうです。中国人がトップで3割近くを占め、次に韓国、インドと続きます。

ずいぶん昔に、今後拡大する中国、インド市場を見込んで、アメリカは語学教育戦略を中国語とヒンディー語にシフトしたということを学びました。それがまさに現実のものとなった感があります。流暢な英語をしゃべり、西洋文化を学んだ中国人や韓国人がこれからますます国際社会で活躍し、皆さんは、グローバルなビジネス世界に入れば、そのような人たちとライバル、あるいはパートナーとして接することになるのです。言語を取り巻く環境は確実に変化しています。そのようなエキサイティングな世界に住む皆さんにオススメしたいのは、英語プラス中国語や韓国語なども視野に入れた語学戦略です。NY滞在で実感したことは、英語の窓を通して見える世界が確実に変化しているということでした。*全文はLL研究室ホームページで

昨年、ニューヨークに長期滞在し、日本の寿司の普及ぶりに驚きました。健康的で、おしゃれなイメージが一人歩きをして、sushiという言葉が実体を超越して使われ始めています。インターン先紹介サイトが「インターンsushi」だったり、仏製のおしゃれなサンダルはなぜかsushiでした。言葉の使われ方は面白いですね。

寿司の普及とは裏腹に、NYの日本人勢力は大きく縮小しています。テレビから日本語の番組が消え、代わりに、中国語と韓国語が幅を利かせています。

客員研究員となったコロンビア大学も、キャンパスで見かける多くが中国人と韓国人でした。その年の全



▲ コロンビア大学で

英語

黒沢 眞里子文学部教授

昨年、ニューヨークに長期滞在し、日本の寿司の普及ぶりに驚きました。健康的で、おしゃれなイメージが一人歩きをして、sushiという言葉が実体を超越して使われ始めています。インターン先紹介サイトが「インターンsushi」だったり、仏製のおしゃれなサンダルはなぜかsushiでした。言葉の使われ方は面白いですね。

寿司の普及とは裏腹に、NYの日本人勢力は大きく縮小しています。テレビから日本語の番組が消え、代わりに、中国語と韓国語が幅を利かせています。

客員研究員となったコロンビア大学も、キャンパスで見かける多くが中国人と韓国人でした。その年の全



▲ 活躍の専大杖道会

漫画研究同好会

ネットオークション (文1) 神崎なの



▲ 初段の部

「BLASTS」19位と健闘

第26回チアリーディング日本選手権大会(経営3)は、今回の準決勝進出はチームの努力はもろんだが、周りの支えがあったこそ。皆さんへの恩返しとなるような演技をしようと思いましたが」と話した。

次の目標は全日本学生選手権大会(12月8、9日、同会場で開催)活躍に期待したい。

「BLASTS」19位と健闘

第26回チアリーディング日本選手権大会(経営3)は、今回の準決勝進出はチームの努力はもろんだが、周りの支えがあったこそ。皆さんへの恩返しとなるような演技をしようと思いましたが」と話した。

次の目標は全日本学生選手権大会(12月8、9日、同会場で開催)活躍に期待したい。



▲ 「BLASTS」の演技